



2026 第6回推進チームを開催しました！

- ・開催日時 令和8年1月24日(土)
10時00分～12時00分
 - ・開催場所 UR金剛団地管理サービス
事務所 2階集会所
 - ・参加者数 11人
- ・実施内容
 1. 開会あいさつ、趣旨説明
 2. 今年度の効果検証
 3. アイデア創出シートの作成（個人ワーク）
 4. グループ内での共有・とりまとめと全体発表
 5. 全体総括
 6. 今後について・閉会



グループ内で
アイデアを共有



全体発表を通して
振り返りを共有



アイデア創出
シートを作成



とりまとめシート
で意見を共有



青木先生による
全体総括



アイデア創出
シートを作成



とりまとめシート
で意見を共有

ウォーカブル
KONGO

詳しい活動内容についてはInstagramにて



富田林市HP

金剛駅周辺のウォーカブルな空間づくりの取り組みについて



2025ウォーカブルKONGO効果検証

以下の結果を推進チームメンバーと共有しました！

1. Open Street + (OS+) 実施結果

開催日程 1日目(金): 17:00~21:00
2日目(土): 11:00~16:00

来場者アンケート結果概要

- 回収数: 259件
- 来場者属性: 30~40代、子育て世代の増加
- 居住地: 地区内居住者が半数以上、市外・近隣市からの来場も一定数
- 評価傾向: 歩きやすさ、雰囲気、居心地の良さは高評価を得られましたが、交流・賑わいの実感については課題があります。

周辺住民アンケート結果概要

- 回収数: 92件(第2・第3住宅対象)
- 年代: 50代以上が約9割
- 取組認知度: 約8割
- 評価傾向: 継続について、8割程度が継続を希望しています。音・規模感・生活環境への影響、合意形成の進め方に課題が残ります。

2. Open Street Challenge (OSC) 概要

日常的な公共空間(歩道・公園)の活用方法やスキームを検討するため、企画(イベントや出店等)を実践する市民や事業者等を公募し、一定期間のトライアル(暫定利用)を実施しました。

- 実施期間: 10月末~11月末・出店事業者数: 4社
- 評価傾向: 地域ニーズに合致、交流促進、継続開催の可能性が成果として挙げられます。周知不足、出店規模、滞在環境、誘導サイン等が課題です。



「2026年に向けて」の意見整理

推進チームのメンバーで、①今年度の取組を踏まえ、②来年度の取組について、意見交換を行いました。



グループ1

① 参加型の仕組みづくり

- アンケート結果を踏まえ、参加者と一緒に行えることを考えたい。
- ステージなどで来場者が体験・参加できる形にしたい。事前募集をして、やってみたい人に当日関わってもらい仕組みも検討。

② 近隣住民の巻き込み

- 近隣住民に積極的に関わってもらいたい。
- 「推進チームが企画、来場者は参加」という構造だけでなく、当日ボランティアや手伝い、友人を連れてくるなど、少しでも関われる立場を増やしたい。
- ストリートステージ中にゴミ拾いをするなど、地域と一緒にやっている姿を示す工夫も案として出た。

③ 若い世代との連携

- 小中高生、大学生など、より幅広い世代と連携できるとよい。

④ 連携の範囲の課題

- 学校や商店街などとの連携は広がる可能性があるが、広げるほど大きなイベントになるが、調整の負担も増える。どこまで連携するかは今後の課題。

⑤ 成功の定義の整理

- 何をもちて成功とするのか、失敗とするのか。推進チームとしてどこを目指すのか。

グループ2

- ① 定期開催・年1回ではなく、もう少し定期的に開催していることの「定着化」が重要。

- ② チラシ・表示の改善 パッと見て内容が分かるチラシにする。どこに何のお店があるか分かりやすく表示する。

③ スタッフ確保(マンパワー)

- スタッフの確保を強化する必要がある。やりたいと思う人を増やすことが重要。

④ 配置・コーディネート

- 出店場所の配置を工夫すべき。
- 場所によって賑わいに差があったため、全体が回遊できる工夫が必要。

- ⑤ トイレ問題・トイレの数が少なかった。お酒の提供があるなら特に重要。設置場所や数の改善が必要。

⑥ 店舗ラインナップ・バランス

- 揚げ物ばかりなど偏りがあった。子どもも食べられるメニューなど、バランスを考える必要。
- どんな出店が望ましいか検討したい。

- ⑦ 飲食・キッチンカーだけでなく、地元団体の出店(焼きそば等)も検討。

- ⑧ 認知の向上・認知が広がらないと、人もスタッフも集まらない。

- ⑨ 本番前の小規模イベント・本番前に小さなイベントを実施すると、本番の盛り上がりや集客につながるのではないか。